

令和7年9月1日

保護者の皆様

羽曳野市立埴生南小学校

校長 黒木 悟

1 学期チーム担任制アンケートから

酷暑の候 いつも本校教育活動にご理解ご協力ありがとうございます。2学期がスタートしましたがどうぞよろしくお願いいたします。

さて、1学期末に6年生で実施しておりますチーム担任制についてアンケートを行いました。

まず

チーム担任制とは

☆学級の担任を固定しないで、一定期間で担任を交代する学校運営の仕組み

(本校6年生は、およそ1カ月で担任を交代します)

チーム担任がめざすもの

本校は小学校6年間を通じて子どもたちを学習面、体力面、そして協力する力、協調する力など集団の中で育まれる様々な力を育てるように努力しております。

6年生で実施するチーム担任制もその一つで、6年間の集大成として、子どもたちが固定の担任から脱却し、自分たちで協力して集団を形成できるか、また、助け合いや励ましあいができるかなど6年担任団で見守りながら子どもたちを育てていく仕組みです。本年度も授業以外の様々な学校場面でそれぞれの先生が関わり、相談にのり、アドバイスや指導をし、子どもの力を信じて取り組みを進めています。

きっと、中学校に進学した際に自立的に周りに関わり、自分自身の世界を広げていける力になると信じています。

チーム担任がもたらす副産物

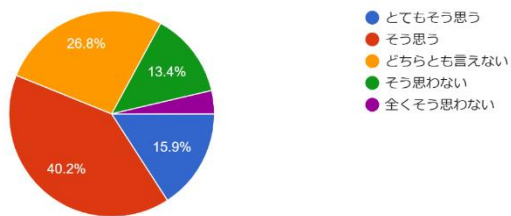
チーム担任制では、同時に教科担任制(同じ先生が同じ教科を教えること)になります。どのクラスも同じ先生から学ぶので、授業の平等性が保たれます。また、得意な分野を先生が担当することになるので授業の質が向上することが期待できます。

また、話しやすい先生、質問しやすい先生、厳しく叱ってくれる先生、相談しやすい先生、など子どもが複数の先生と関り社会性を身につけることにつながります。

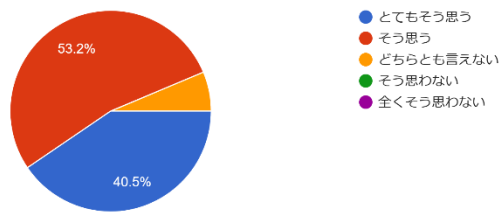
担任の先生が～してくれないなど、自分以外を要因にする気持ちをなくし、自分自身で自分の道を切り開く気持ちや他者と協力してより良い集団を形成する資質を磨いていきます。

児童のアンケート（7月実施）まとめ

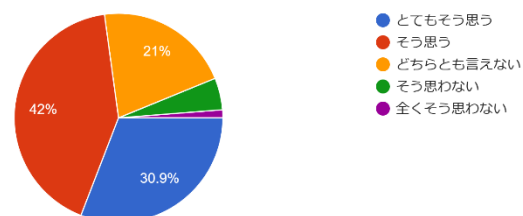
Q1 担任の先生がローテーションで代わることに魅力を感じる
82 件の回答



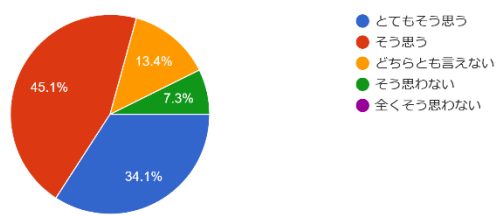
Q2 どの教科の授業でも決まりを守って学習している
79 件の回答



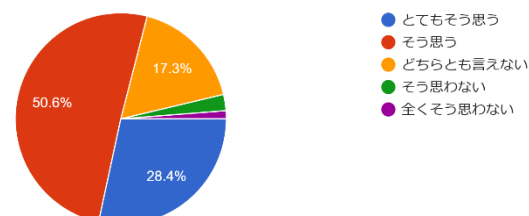
Q3 各教科で先生が代わることで、学習内容はよくわかるようになった
81 件の回答



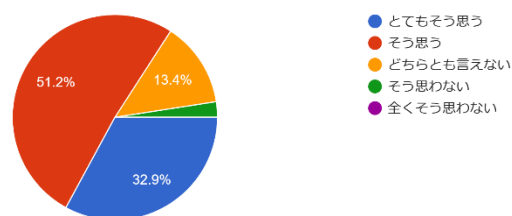
Q4 教科の先生が変わっても、クラスでのルールは変わらない
82 件の回答



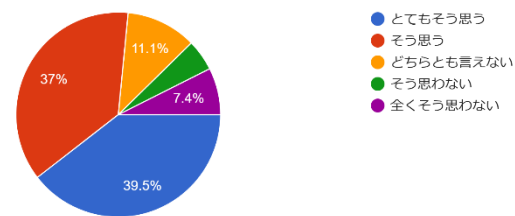
Q5 話し合いの場面では、どの授業でも自分の考えや意見を言いやすいと感じる
81 件の回答



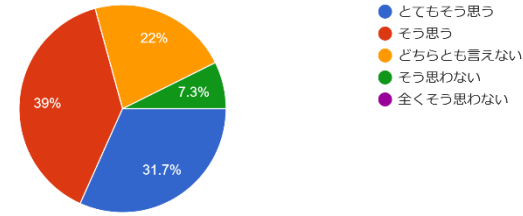
Q6 クラスでの活動を通じて、いろいろな先生の方考え方に接することができると思う
82 件の回答



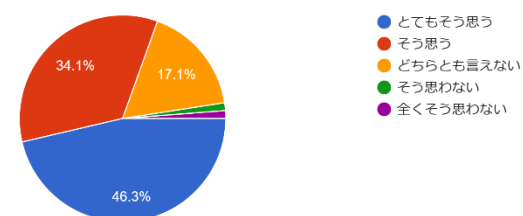
Q7 学校生活で困ったことがあれば、相談できる先生がいる
81 件の回答



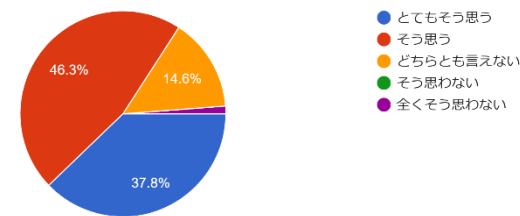
Q8 自分は、いろいろな先生と関わっている
82 件の回答



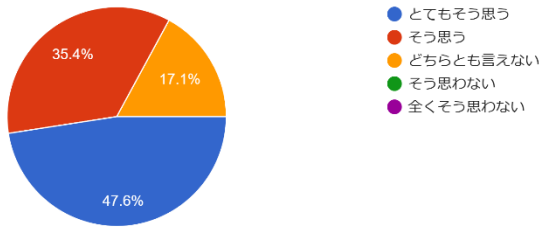
Q9 自分のことを理解してくれる先生がいる
82 件の回答



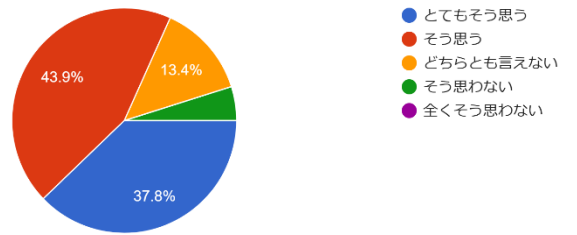
Q10 いろいろな先生の良さがわかる
82 件の回答



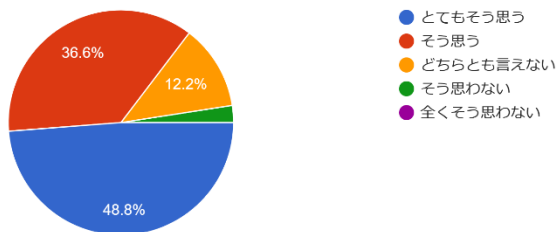
Q11 先生たちは、みんなで自分たちを育てようとしてくれていると思う
82 件の回答



Q12 先生たちは、それぞれ自分に関わってくれる
82 件の回答



Q13 先生たちは、自分たちの話をよく聞いてくれる
82 件の回答



ほとんどの項目で80%以上の肯定的な回答でした。唯一「担任の先生がローテーションで代わることに魅力を感じる」の項目が50%ほどしか肯定的な回答を得られませんでした。子どもたちがこれまでの5年間の中で、担任の先生との結びつきを心地よく感じ、固定した担任と築きあげていく学級に魅力を感じている子も多いという結果だと考えられます。このチーム担任制の狙いは、担任頼りの学級集団から、自分たちで自主的な自治を行う学級集団を作りあげていく過程も子どもたちにとって必要な学びと捉えた取り組みです。これまでの5年間の経験を活かし、卒業時に担任から離れても自分たちの力で生き抜いていく自信と様々な力を身につけ、後々の進路を自らの足で歩んでいけるように支援していきます。

肯定的な回答が最も高かった Q2「どの教科の授業でも決まりを守って学習している」は、子どもたちが教科や先生たちに依存せず、自分たちで他者の事を思いながら学習のルールを守り学習できていることがわかります。

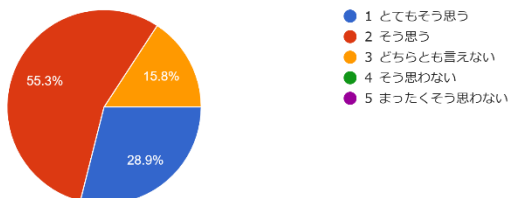
次に肯定的な回答が高かった Q6、Q10、Q11、Q13は、子どもたちから見て、複数の先生の良さや、先生たちみんなで自分たちを見てくれていると感じているということがわかります。子どもたちは話しやすい先生に話をし、見守られていると感じながら学校生活を送っていることがわかります。

Q7の「学校生活で困ったことがあれば相談できる先生がいる」は、肯定的な意見が多い一方、全くそう思わないと回答した児童が一定数いることから、相談することができず胸の中にしまったままの子どもがいることがわかります。6年チームの先生でより深く子どもたちを見ていくことと気持ちをキャッチできるスキルを磨いていく必要を感じました。

保護者のアンケート（7月実施）まとめ

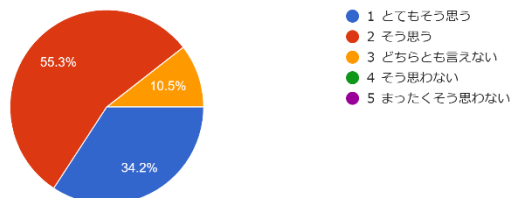
Q1 子どもは、6年生での学校生活を楽しんでいると思う

38 件の回答



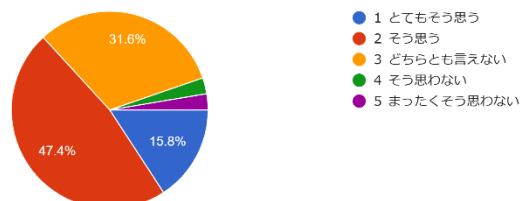
Q2 子どもは、この制度のもとで多くの教員と関わることができていると思う

38 件の回答



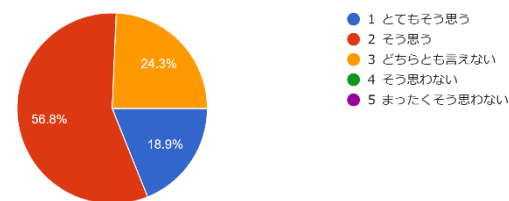
Q3 子どもは、質問や相談しやすい教員を見つけていると思う

38 件の回答



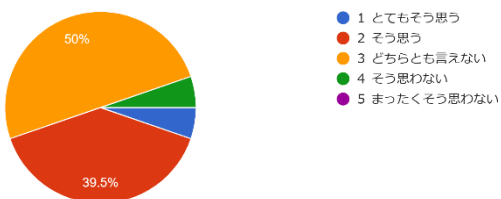
Q4 子どもは、クラスや授業でいろいろな教員の考え方に接することができていると思う

37 件の回答



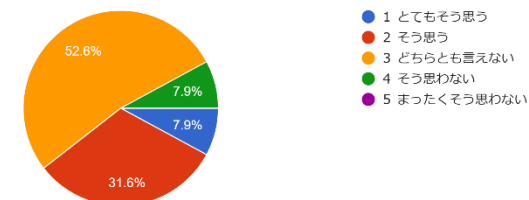
Q5 子どもは、教科で担当教員が代わることにより授業がわかりやすいと感じている

38 件の回答



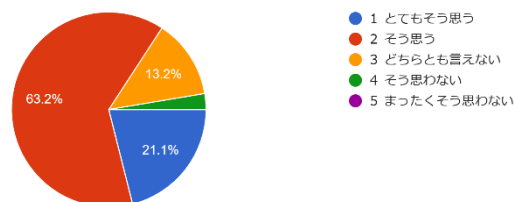
Q6 子どもは、話し合いの場面では、どの授業でも自分の考えや意見を発表しやすいと感じている

38 件の回答



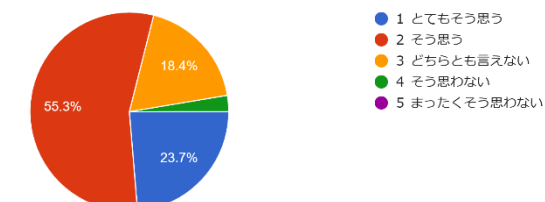
Q7 子どもの友人関係は良好である

38 件の回答



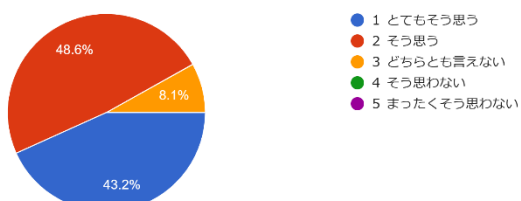
Q8 子どもが困っていることなどに、教員は丁寧に対応してくれている

38 件の回答



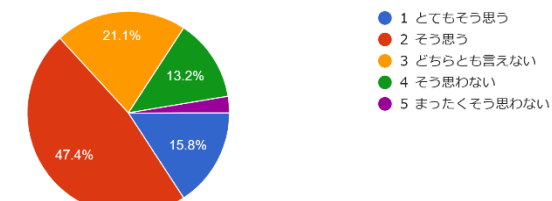
Q9 教員はみんなで子どもを育てようとしてくれている

37 件の回答

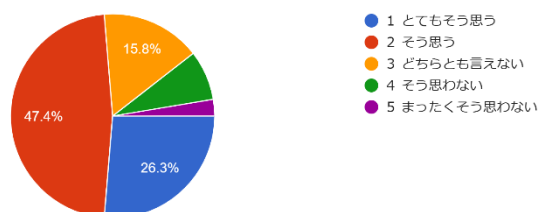


Q10 「学年(チーム)担任制」は、複数の教員が対応するので安心できる

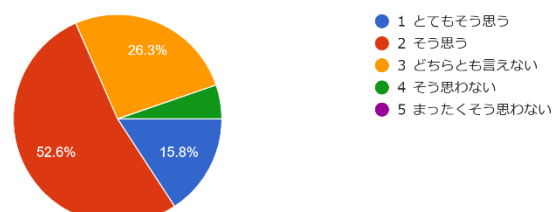
38 件の回答



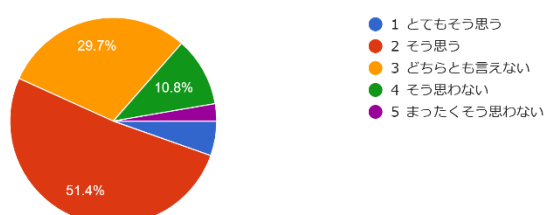
Q1 1 自分(保護者の方)にとって、相談しやすい教員がいる
38 件の回答



Q1 2 自分(保護者の方)にとって、「学年(チーム)担任制」のしくみは十分に理解できている
38 件の回答



Q1 3 「学年(チーム)担任制」は、お子様にとって良い効果があるように思う
37 件の回答



児童のアンケートと比較すると、「どちらとも言えない」という回答が非常に多い結果になりました。これは、チーム担任についての学校の発信不足と全国的に新しい取り組みで周辺に実践例がなく、制度自体が広く認知されていないことが原因だと思います。このアンケート結果も 6 年生の保護者だけでなく、全校に公表します。学校側での発信を強化していきます。

また、Q5 と Q6 の授業中の事項についての肯定的な意見が低いことについては、先生が教科ごとに変えることへの戸惑いが感じられます。この児童期の子どもたちにとって質問のしやすさなどは、先生と子どもとの距離感が大きなウエイトを占めます。また、質問のしやすさは授業の理解度にも関わります。これは、2 学期以降で子どもたちが先生たちに慣れて、またこの教科担任の制度にも慣れていくことで改善されるものと考えています。また、2 学期以降にアンケートを実施しますのでその結果を見ていきたいと思っています。

自由記述欄では、「複数の先生方が子どもに関わることによって様々な先生方の考え方に触れることができていると思う」、「毎月、先生が変わることで子どもの気持ちが引き締まるのでよい」、「反抗期になる年ごろなので、複数の先生が関わることで相談しやすい先生を見つけたりできるなど精神的な負担も減っているように感じます」「4 人の先生に見てもらえていてこんなに心強いことはない」など応援や励ましなど肯定的な意見がほとんどでした。私たちも気が付かないチーム担任制への良さを知るいい機会になりました。一方「先生が変わるたびに小さなルールが変わるので子どもに戸惑いがある」「1 か月ではなく 2 か月ぐらいがいいのでは」という意見もありました。検討していきたいと思っています。

多くの応援や励ましの言葉、そして、貴重なご意見ありがとうございました。